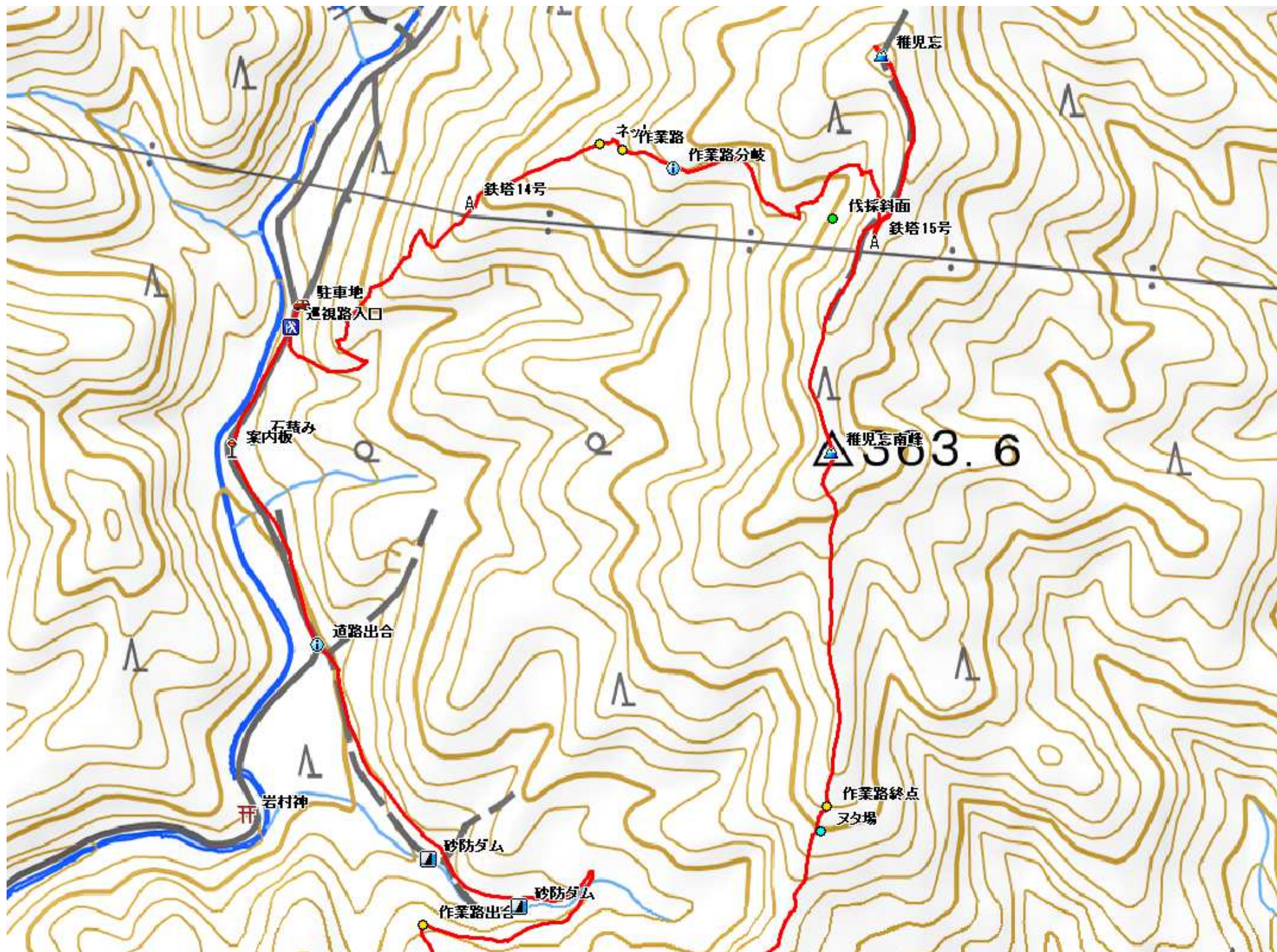
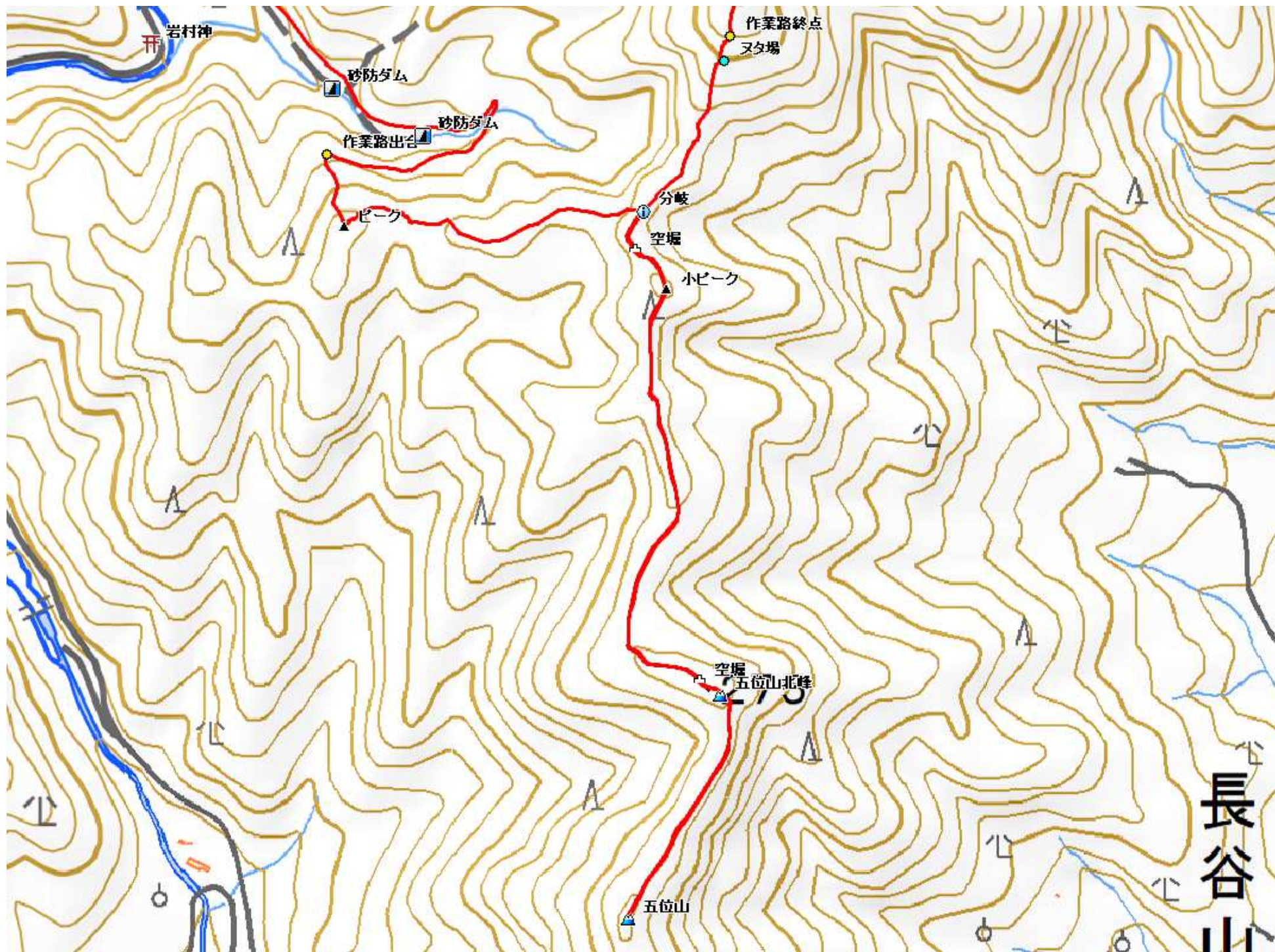


- 駐車地
- ↓ 0:01
- 巡視路入口
- ↓ 0:11
- 鉄塔14号
- ↓ 0:08
- 作業路分岐
- ↓ 0:08
- 鉄塔15号
- ↓ 0:05
- 稚児忘(390m)
- ↓ 0:09
- 稚児忘南峰(364m)
- ↓ 0:15
- 分岐
- ↓ 0:15
- 五位山北峰(275m)
- ↓ 0:05
- 五位山(270m)
- ↓ 0:18
- 分岐
- ↓ 0:14
- 作業路出合
- ↓ 0:12
- 道路出合
- ↓ 0:05
- 駐車地

220125稚見忘(390m) 詳細図 北部



220125稚見忘(390m) 詳細図 南部



稚児忘(390m)～五位山(270m)
2022.01.25(火) 晴れ

駐車地→巡視路入口→鉄塔14号→作業路分岐→鉄塔15号→稚児忘(390m)→稚児忘南峰(364m)→分岐→五位山北峰(275m)→五位山(270m)→分岐→作業路出合→道路出合→駐車地



朝倉市秋月の県道594号を安養寺で左折し甘水川に沿い2.5km悪路を走った路肩に**駐車**し、下る。



20m程下ると山側に**巡視路入口**を見てプラ階段に取付く。



傍に立つ鉄塔標柱。



ヒノキ植林地を上って行く。



転回して北西へ上って行く。



尾根斜面を北東へ向かうと、前方が開けて来た。



鉄塔14号を見上げる。



送電線が延びる西北西を望む。



伐採尾根に行く。



尾根筋の傾斜が緩んできた。



ネットに出合い、外へ出る。



作業路を進む。



作業路分岐に出合う。



作業路を東へと緩く下って行く。



山側に森林看板を見る。



緩く下って行く。



前方に伐採斜面が現れた。



伐採斜面の頂部に鉄塔15号が見える。



北斜面の踏跡を辿る。



枝に結ばれた赤テープを辿る。



鉄塔15号を見上げる。



西へ連なる送電線。



斜面を北へ向かう。



アカマツ尾根に行く。



ピークが見えた。



稚見忘(390m)の山名板を見る。



周囲を樹木で囲まれ展望は得られない。



一息ついて引き返す。



鉄塔15号の西側を通過する。



東に古処山を望む。



植林尾根へ入る。



尾根筋斜面を下る。



南東に作業路を見下ろす。



尾根に倒れた植林標柱を見る。



三角点が見えた。



昭和26年選定の四等三角点: 稚兒忘(363.61m)で此処が稚兒忘南峰(364m)とされている。



周囲を樹木で囲まれ展望は得られず、山名板を探すが見当たらず。



南南東へ下る。



北北東からの作業路を見下ろす。



平坦な尾根筋を南へ進む。



作業路終点に出会う。



作業路のヌタ場。



分岐に出会う。帰路右の杉道を下る。



空堀地形を通過する。



小ピークを越える。



マツノキ尾根を南南西へ下る。



尾根筋の倒木を交わして進む。



平坦な尾根筋を行く。



前方に弱いピークが見えた。



枯死木に書かれた**五位山北峰(275m)**の山名を見る。



周囲を樹木で囲まれ展望は得られない。



南へ下る。



緩く上り返す。



尾根筋を緩やかに上って行く。



前方が明るくなって来た。



五位山(270m)の山名板を見る。



周囲を樹木で囲まれ展望は得られない。



山頂の境界杭には「永」と彫ってある。



一息ついて、帰路につく



五位山北峰を通過を通過する。



弱い空堀地形を通過する。



空堀を通過する。



分岐から西の杣道に入る。



白テープを辿る。



白テープを辿り、弱いコルから斜面を上って行く。



ピーク(260m)に到着。



周囲を植林で囲まれ展望は得られない。



これ以上白テープを辿って尾根筋を進むと、駐車地が遠のくので北北西へ斜面を下る。



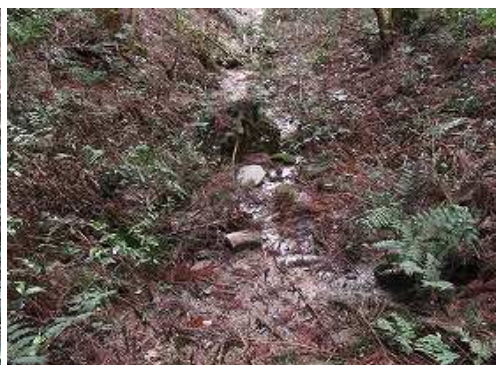
緩やかに下って行く。



作業路に出会い、右へ向かう。



小ヤブの作業路を東南東へ下る。



弱い沢を通過する。



右岸沿いに下る。



左に砂防ダムを見送る。



2番目の砂防ダムが見えた。



右上に放棄機材を見る。



落葉が積もる作業路を下って行く。



弱いササ道を緩く下って行く。



道路に出会い、右へ向かう。



甘水川に沿うように北へ向かう。



「学校林入口」と書かれた案内板を見る。



スギ植林地を抜ける。



昭和13年の地形図には稚児忘の地名が記載されている。



今は稚児忘集落の石積みだけが残っている。



傍を流れる甘水川。



巡視路入口の先に駐車地が見え、帰り着いた。



甘水川右岸沿いに建つ岩村神社に立ち寄る。

今回は、①CINの九州低山そうつ記 ②海の風 山の風 ③四等三角点稚児忘の点の記 の記録を参考にした。